



ふるさとだよ りよしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2016
12
No. 729



CONTENTS

【地域のチカラ】
吉敷地区福祉員協議会 …… 2
インフォメーション …… 4

今月の吉敷人 …… 5
レポート …… 6
【吉敷の福祉・健康】
サロン寿 …… 7

【よしきで輝く】
吉敷社交ダンスクラブ …… 8
かけはし …… 8

吉敷地区福祉員協議会

近年、吉敷地区においても少子高齢化や核家族化が進み、一人暮らしの高齢者など、何らかの手助けや支援を必要としている人が増えるといった福祉に関する様々な課題が生じています。

各町内会・自治会から推薦 身近な相談者としての「福祉員」

福祉員は、各町内会・自治会から推薦され、市社会福祉協議会と吉敷地区社会福祉協議会から委嘱を受けた地域のボランティアです。

福祉員の任期は3年で、日頃から民生児童委員と連携しながら、地域における身近な相談者・支援者として、また、地域福祉活動の担い手としての役割を担っています。

福祉員が集い活動する 「福祉員協議会」

福祉員協議会では、毎月1回開催する定例会において、情報交換や研修会などを行いながら、地域における福祉のネットワークづくりや見守り訪問活動など、福祉の課題が少しでも解決できるよう様々な活動に取り組んでいます。

(福祉員名簿を次ページに掲載)

平成28年度 事業計画・予算

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
助成金	80,000	市社協
	90,000	地区社協
雑収入	1,000	預金利息等
合 計	171,000	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算額	内 訳
研修・活動費	110,000	各種研修会の開催 (写真①③)
		福祉施設等の視察 (写真②)
		福祉施設等の訪問
		見守り訪問活動 (ふれあい型給食等)
		福祉教育の手伝い (良城小学校)
		輪飾りづくりの手伝い
		敬老の日激励品配布 (約30人)
		サロン活動の手伝い
		戦没者慰霊祭の手伝い
		ふるさと祭りの手伝い
会費	23,000	市社協 (@1,000×23人)
事務費	38,000	印刷・コピー代ほか
合 計	171,000	

※事業の一部を写真等で紹介します。(表の写真番号は右・下部の写真)

小地区見守り訪問活動の推進



福祉員、民生児童委員、町内会長が連携しながら、高齢者等の見守り訪問活動を推進しています。

新任福祉員研修会 ①



新任の福祉員は、地域福祉活動の進め方や、個人情報の取り扱いなどについて研修します。

毎月の定例会



毎月1回定例会を開催して、情報交換や研修を行いながら、地域福祉活動に取り組んでいます。

AED研修会 ③



いざという時にあわてることのないよう、市消防本部職員を講師にAEDの使い方を研修します。

福祉施設等の視察 ②



今年度は障がいのある方を積極的に雇用しておられる企業「リベルタス興産(有)」を視察しました。

福祉員名簿

担当地区	氏名
吉敷畑	山本 文子
中尾西	原田 ヨシ子
中尾東上	門田 妙美
中尾東下	長沼 幸江
緑ヶ丘	西村 弘
赤田	横尾 宏志
佐畑(新町)	井上 チエ子
佐畑(小佐畑)	山下 武己
佐畑(滝河内)	福永 信子
中村	藤本 敏男
中村	秋貞 佳子
木崎	上利 典子
木崎団地	井藤 晴美
上東(1~3区)	林 隆一(会長)
上東(4区)	小田 純子
上東(5区)	藤田 弘子
上東住宅団地	岡本 文恵
下東(北)	石津 敦夫
下東(南)	原田 美知子
下東(中・大橋)	(欠員)
京面団地	前田 幸夫
大橋町	櫻間 久美子
稲葉町	寺岡 幸子

地域の福祉施設を訪問 利用者との楽しいひととき

この日は、4名の福祉員で「グループホームよしき」にお伺いしました。

翌日は七夕ということでも、利用者の方は一生懸命に、また、とても楽しそうに笹の飾り付けをされていました。

福祉員はそのお手伝いをしながら、抹茶やお菓子を一緒にいただいたり、お話しをしたり、昔懐かしい歌を歌ったりと、楽しいひとときを過ごしました。



毎月の「ふれあい型給食」 自宅までお届けしています

手作りのお弁当を届けに、一人暮らし高齢者のお宅を訪問しています。

ふれあい型給食会の皆さんの心のこもった手作りの味と、お弁当に添えられた良城小児童が一人ひとりにあてて書いたお手紙をお届けすると、大変喜ばれます。

うそ電話詐欺や熱中症に気を付けましょうなどと会話に花を咲かせながら、そっと見守っています。



福祉体験授業のお手伝いで 良城小学校を訪問

子ども達は、ゴーグルやおもり、手袋などを身体に付け、お年寄りと同じような状態になって、階段を上ったり、財布からお金を出したりしてみます。

このように、お年寄りがいかに不自由な思いをしておられるのかを体験することで、福祉の心を養います。

いつかどこかで、子ども達がお年寄りを手助けできることを願っています。



昔からの風習を 次の世代に引き継いでいきます

子ども達が正月用の輪飾りを作るということで、福祉員はそのお手伝いをしました。

最初は慣れない手つきでしたが、子ども達も大ベテランのお年寄りに教えてもらいながら、最後にはなんとか輪飾りを作りました。

こうした古き良き風習が引き継がれていくことが大切だと思います。



このように、私たち福祉員は、子どもから高齢者まで、誰もが安心して、楽しく暮らしていくことができる吉敷地区の実現に向けて、日々活動しています。

福祉に関する困りごとがあれば、遠慮なく各地区の福祉員にご相談ください。

【問い合わせ】福祉員協議会

☎083-922-1334

イベント案内

健康相談

がん検診や特定健診の受診はお済みでしょうか！健診の結果や健康づくりについて、保健師や栄養士がサポートします。

今月は握力測定・ロコモチェック（骨や筋肉を若く保つコツを学びましょう！）・体組成（筋肉量・脂肪量）測定・血圧測定を行います。

また、みそ汁の塩分測定や、カルシウムを多く含む食品の展示も行います。

【とき】12月7日（水）13時30分～14時30分（受付時間）

【場所】地域交流センター 講座室

【参加費】無料

【準備】健康診査結果・健康手帳（お持ちの方）、みそ汁の塩分測定を希望される方はみそ汁50ml程度（密封容器に入れて持参）

【問い合わせ】市保健センター

☎0833-921-2666



表紙の人口・世帯数について

表紙の人口・世帯数は、国勢調査に伴いその基礎となる数値が総務省統計局から公表されていないため、平成28年10月1日現在の数値を掲載しています。

子育て講座（おやこクリスマス会）

クリスマスが近づいてきました。今年もクリスマスにまつわるお話などで素敵な時間を過ごしましょう。サンタさんとトナカイさんが来るかもしれませんよ！

【とき】12月16日（金）10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講座室

【対象】未就園児と保護者 30組（先着順）

【参加費】無料

【主催】母子保健推進員、つどいの広場「楽楽楽」

【申込】地域交流センター
☎0833-922-13915



お餅つきと豚汁大会

石臼すを使っての本格的なお餅つき！あつたかい豚汁で寒さを吹き飛ばせ！お父さんもぜひご参加ください！

【とき】12月23日（金・祝）10時～12時

【場所】地域交流センター 調理室

【募集】30人（先着順）

【参加費】300円（2歳以下無料）

【準備】豚汁に入れる野菜、筍、お椀、コップ

【主催】こどもステーション山口

【共催・申込】地域交流センター

☎0833-922-13915

吉敷地区地域づくり協議会 事務局員募集

【募集人数】1名

【応募資格】様々な地域づくり活動や地域の方々との交流に積極的に取り組み意欲があり、パソコンの基本操作（ワード・エクセル）ができる方

【賞金】日額6,820円（平成28年度）

【勤務地】地域づくり協議会事務局（山口市吉敷佐畑二丁目4番1号 吉敷地域交流センター内）

【雇用期間】平成29年1月4日～平成29年3月31日（更新あり）

【勤務日】月15日以内（事務局員4人でローテーション。イベント、会議等により土、日、祝日、勤務時間外の勤務もあり。）

【勤務時間】8時30分～17時15分

【業務内容】地域づくり活動等に関する業務

- ・地域づくり協議会、自治会、地区社会福祉協議会の事務局業務
- ・地区内活動団体の運営支援
- ・地区の行事やイベントの運営（企画も含む）

- ・広報紙の作成など広報に関する業務

【選考方法】書類審査及び面接による

【応募方法】12月14日（水）までに市販の履歴書を持参。

【申込・問い合わせ】地域づくり協議会
☎0833-922-13344

地域づくり講演会

「実践に学ぶ これからの地域づくりへのヒント」



講師 高崎経済大学 櫻井常矢 教授

日時 12月11日（日）午後4時から

場所 吉敷地域交流センター 講堂

【問い合わせ・申し込み】地域づくり協議会 ☎922-3344

今月のぶっくん（移動図書館）

【とき】12月2日（金）、16日（金）15時20分～16時

【場所】地域交流センター 駐車場

地域交流センター新刊図書案内

・こちら葛飾区亀有公園前派出所 200巻

（秋本治）

・小説君の名は。

（新海誠）

春の七草がゆ

お正月料理で疲れた胃袋を、やさしい七草がゆでいやしませんか。フーフーしながらみんなで暖まりましょう。
申込みは不要ですのでお気軽にお越しください。

【とき】1月7日(土)10時30分～13時
【場所】地域交流センター調理室
【講師】食生活改善推進員
【参加費】無料
【問い合わせ】地域交流センター
☎083-922-3915



12月の予定

7日(水)	健康相談
11日(日)	地域づくり講演会
15日(木)	ふれあい型給食
16日(金)	子育て講座
19日(月)	古文書入門講座
23日(金・祝)	お餅つきと豚汁大会
28日(水)	しめなわ飾りづくり

市成人式のお知らせ

【とき】1月8日(日)14時
【場所】市民会館
【写真撮影】15時(大ホール)
※時間は前後する場合がありますので、早めにお越しください。
※山口市に住民登録がない方には案内状が届きませんので、参加を希望される場合は、市社会教育課までお問い合わせください。

【申込・問い合わせ】市社会教育課
☎083-934-2865



昨年の様子

1月の予定

7日(土)	春の七草がゆ
8日(日)	市成人式 市消防出初式
9日(月・祝)	子ども会どんと焼き
11日(水)	母子相談
15日(日)	市駅伝競走大会
19日(木)	ふれあい型給食

No.012



京面団地 (71世帯)

おがた けんいち
緒方 健一 さん
吉敷在住 30年
会長歴 2年(任期2年)

- 吉敷地区の南東に位置し、県や民間の分譲住宅、教職員アパートで構成されています。造成当初の緑化協定で各戸の外周を整備したため、現在では緑豊かな町並みとなっています。
- 団地ができたころは、町内会員も働き盛りで、町内親睦バーベキュー大会など大いに盛り上がりましたが、今は静かで落ち着いた雰囲気となっています。
- 世代交代が進む中で、少しずつ住民も入れ替わっています。新旧の住民の連携を図りながら、新しい方にバトンを渡していくことになると考えています。

【取材後記】

京面団地が緑豊かな雰囲気を感じる事には、こうした経緯があったことを初めて知りました。

(広報委員：植野)

今月の

吉敷人

【町内会長編】



〈インタビューの内容〉

- 町内の紹介と特徴
- 町内の今昔
- 今後の展望



木崎団地 (79世帯)

こじま こうじ
小島 孔司 さん
吉敷在住 5年
会長歴 1年(任期1年)

- 吉敷地区の南側で、学校や保育園に近く維新公園もあり環境の良いところです。30代から40代の入居者が多く、子ども達もたくさんいます。
- この町に来てまだ5年くらいなので、団地ができた時の様子は分かりませんが、子どものつながりで、ご近所のお付き合いは活発だと思います。
- 役員になり、町内会のことなど、今まで知らなかったことが分かるようになりました。町内の皆さんにも積極的に役に就いていただき、地区の行事等に参加される方が増えてもらいたいです。

【取材後記】

なんと30歳の町内会長さん。若い人ならではの発想や行動は、これからの吉敷地区に必要なことだと思います。頑張ってください。

(広報委員：植野)

レポート

「吉敷ふるさとまつり」 お天道様もお祭り気分

11月13日(日)、「第41回吉敷ふるさとまつり」が盛大に開催されました。
今年も天候にも恵まれ、11月であるにもかかわらず、前日準備から汗をかき、地域の皆さんと一丸となって開催した、元気づけで賑やかな祭りになりました。



伝統と文化の香りも豊かに

秋の祭りの特徴として、地域交流センターの屋内会場では、文化系の定期利用団体が展示や体験コーナーを企画し、伝統や文化をより身近に感じることができ、参加した子ども達にとっても貴重な体験になりました。



出店の可愛い誘惑にノックダウン

祭りといえば、やっぱり出店。今年は14店舗の出店が参加者の胃袋を掴んだり、くじ引きやゲームで楽しませてくれました。子ども達も可愛い売り子さんとして、会場内を駆け回り、参加者のお財布の紐を緩ませていましたよ！



芸術爆発!! オンステージ♪

ステージでは、良城小児童や鴻南中学生、定期利用団体等が、日頃の練習の成果を発揮し、ダンスや太鼓やコーラスなどを披露。会場を大いに盛り上げてくれました。



地区のチカラは無量大

この祭りは準備から当日の片付けに至るまで全てが地区の方の協力で成り立っています。地区のチカラを結集して、今年も大盛況の祭りを開催することができました。来年も大いに盛り上げていきましょうね！

華! 司会の3人娘



祭りの華である司会。今年は地域の元気な3人娘が大いに盛り上げてくれました。輝く女性に憧れますね！

体験おまわりさん



警察体験でパトカーや白バイにも乗れました。憧れの正義のヒーローになった気分子ども達も興奮気味でしたよ。

お楽しみ抽選会



今年の特賞はふぐセット。見事に当選しました。素敵な年の瀬にしてくださいね！

餅まきの舞台裏



吉敷の餅まきは手作りが基本。前日早朝から消防団の男衆を中心にみんなで餅を作っています。

情熱のステージ設営



ステージの設営も、地域みんなで力をあわせて設営します。無事故への情熱がほとばしります。

JAさんありがとう



会場提供など、JAさんにも協力いただきました。特大の餅つき機「台がら」は圧巻でした！

勇気を出してトンネルくぐれ!

10月28日(金)、「ちびっこ運動会」がいつもの広場「楽楽楽」、母子保健推進員の共催で開催されました。競技のトンネルくぐりでは暗やみに泣き出す子どももいましたが、大好きなお母さんと一緒に、勇気を出して頑張っていましたよ。



秋の味覚だ!芋掘ったどお!!

11月3日(木・祝)、つどいの広場「楽楽楽」で、「ららの秋祭り」が開催されました。秋の味覚のさつま芋掘りでは、みんな自分の手より大きな芋を一生懸命収穫しました。収穫したさつま芋を手にみんな満足顔でしたよ。



最終回に11点!木崎が優勝奪取

11月6日(日)、維新公園ちよるる広場で晴天のもと「親睦ソフトボール大会」を開催しました。この大会では5町内会が参戦し、激戦の末、木崎町内会が見事優勝しました!参加者、役員の皆さんは大変お疲れ様でした。



連覇達成!!圧倒的勝利の男子バレー

11月13日(日)、やまぐちリフレッシュパークで、「市地区対抗男子9人制バレーボール大会」が開催され、圧倒的なチームワークの良さで、吉敷地区が連覇を達成しました。劣勢な時でもみんなで声をかけあい、挽回していくチームの姿は感動的でした。



吉敷の福祉・健康

WELFARE AND HEALTH

吉敷地区で活動する「ふれあいいきいきサロン」の11団体を順次ご紹介します。

「サロン寿」

上東自治会で活動するサロン寿がスタートしたのは平成27年です。老人クラブ「上東福寿会」が母体となっており、現在の会員数は82名です。

第1月曜日だよ♪全員集合～!!

活動は毎月第1月曜日。内容は、グラウンドゴルフやペタンクなどの屋外運動系と、歌の集いや民謡などの屋内発散系とがあり、興味がある内容のときに自由に参加できます。

取材に伺った日は、午前はグラウンドゴルフと民謡、午後は講師を招いての二胡とオカリナの演奏会が行われました。



二胡とは中国の楽器で、ニシキヘビの皮と馬のしっぽを使用し、弓となるしっぽに塗った松脂がネバネバして引っかかり音がでるそうです。

サロン寿パワー 全開!!

思わず口ずさみたくなるような「涙そうそう」や「赤とんぼ」、「川の流れるように」などの曲目が演奏されると、パワー全開の大合唱団となりました。



役員の方は「新たな企画を考えているので、多くの方に参加してほしい」と言われていました。皆さんも参加して、交流の輪を広げてみませんか?

【代表者】金築 進(上東)

【問い合わせ】☎083-923-4624(金築宅)

【開催日】毎月第1月曜日

【会場】上東公民館・上東第2公園

吉敷社交ダンスクラブ

DATA

- 【活動日】 毎週木曜日 13時～17時
- 【活動場所】 地域交流センター 講堂
- 【会員数】 13名



吉敷ふるさとまつりにて

地域交流センター登録団体等を紹介するコーナー「よきで輝く」。講堂の扉を開けると、優雅な音色のなか、男女ペアで華麗にステップを刻んでいる。

シャルウィーダンス？今回は「吉敷社交ダンスクラブ」にお邪魔してきた。

平成13年から山口社交ダンスクラブの吉敷教室として始まった。ジルバ、ルンバ、ワルツ、タンゴ、チャチャチャなど、社交ダンスの競技の種目は多い。細かいステップなど、一見、初心者には難しく、敷居が高いと思われるかもしれないが、毎回始めの1時間は、初心者向けの種目から練習を始める。メンバーの大部分も当初は未経験者だった。

始めたきっかけを聞いてみると、「いつまでも若々しく、背筋もピンッとしたいから」とは奥田澄子さん。また、「退職して、興味があつた世界に挑戦してみたかった」とは、日野出瑩子さんだ。



シャルウィーダンス？一緒に踊りましょう

この日も、5種類のダンスをしたメンバーの様子をみると、汗をかき、軽く息があがっている。見た目の優雅さとは裏腹に、十分な運動にもなり、健康づくりにはうってつけだ。

練習の成果を発表する場もある。毎年12月中旬に市内のホテルで開催される山口社交ダンスクラブ主催のダンスパーティー、また、吉敷ふるさとまつりでは毎年華麗なダンスを披露してくれる。

最後に、代表の横尾宏志さんから一言。「初心者でも大歓迎です。興味のある方は見学だけでもどうぞ！」ちなみに、「とりわけ男性はぜひ！」とのことだ。今からでも、地区の元気で楽しい社交界にデビューしてみたいかがだろうか。

「マニュアル化された現代」

最近はお店などいろいろなところで、マニュアルに書かれた内容をそのまま言葉にしたと思われるような奇妙な日本語をしばしば耳にします。いつ聞いても全く同じ用語を使った言葉で対応されます。就業規則でそのような対応をするようにと強制されているのですが、このような貧弱な日本語で日常業務を行っていると、頭の中まで類型化した思考しかできなくなるのではないかと心配になってきます。

事故や事件が起こったときに、記者会見で、その組織の責任者と思われる数名の人が頭を下げている光景がしばしばニュースで放映されています。これもマニュアル化された行動です。また、原因追及の名の下に、マスコミによって、マニュアルの有無について厳しく問い詰められています。

果たしてマニュアルは必要でしょうか。対応策を検討しておくことが必要ではないと言っている訳ではありません。マニュアル通りの対応では、心からの感謝や謝罪の念が相手に伝わっていないのではないかと心配しているのです。

災害時にも、マニュアル通りではなく、自分の頭で考えて、臨機応変に対処したいと常日頃から考えています。

広報委員 右田耕人

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索